

付録4-1 学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ（情報通信エレクトロニクス工学科+専攻科）

本コースの学習・教育到達目標	JABEE教育目標との対応	達成度の評価に関する科目	達成度の評価法	総合評価	科目名								
					情報通信エレクトロニクス工学科		電子情報システム工学専攻						
					本科4年	本科5年	専攻科1年		専攻科2年				
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
(A)日本語および英語のコミュニケーション能力	A-1 技術者として、分かりやすいいきちんとした日本語での表現、技術報告書の作成、プレゼンテーションなどができる	(f)	・国語Ⅳ ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ ・技術表現特論	・国語Ⅳの達成度で評価する ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ(レポート、中間・最終発表の原稿、プレゼンテーション、特別研究報告書)および技術表現特論の達成度で評価する	(1)左記を全て満たすこと (2)コミュニケーション	国語Ⅳ(◎)(1)				システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)	技術表現特論(◎)(2)
	A-2 英語による基本的な表現(英文読解、英作文、英会話)ができる	(f)	・英語Ⅳ、英語Ⅴ ・コミュニケーション英語	・英語Ⅳ、英語Ⅴおよびコミュニケーション英語の達成度で評価する	英語の評価が80点以上、またはTOEICスコア400点相当以上*)であること	英語Ⅳ(◎)(2)	英語Ⅴ(◎)(2)			コミュニケーション英語(◎)(2)			
	A-3 技術者としての英語のコミュニケーション能力を身につける	(f)	・システム工学特別研究Ⅱ ・技術英語(専攻科2年)	・システム工学特別研究Ⅱの概要を英文で記述できることで評価する ・技術英語(専攻科2年)の達成度で評価する		技術英語(1)				システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)	技術英語(◎)(2)
(B)コンピュータの基本的技術および工学への応用技術	B-1 コンピュータのハードウェアに関する基本的な働きを理解し、OSやプログラミング言語に関する基礎的な処理ができる	(c)	・デジタル設計 ・応用プログラミング	・デジタル設計、応用プログラミングの達成度で評価する		デジタル設計(◎)(2)							
	B-2 工学的な課題についてコンピュータを応用して解決することができる	(c)	(d)	・情報工学基礎論または数値計算論のいずれか1科目 ・画像情報処理工学、数理OR工学、アルゴリズム工学のいずれか1科目	・選択した2科目の達成度で評価する	画像処理工学(2)	メディア工学(2)			情報工学基礎論(○)(2)(*3)	数値計算論(○)(2)(*3)		アルゴリズム工学(○)(2)(*4)
(C)電子・情報系技術の基礎知識・能力	C-1 数学、物理などの基礎的な知識・能力を身につけ、それを工学の分野で利用できる	(c)	(d)	・応用数学Ⅰ・Ⅱ ・応用物理 ・物理数学、離散数学、応用物理学のいずれか1科目	・応用数学Ⅰ・Ⅱ、応用物理の達成度で評価する ・物理数学・離散数学・応用物理学のいずれか1つの達成度で評価する	応用数学Ⅰ(◎)(2)	応用数学Ⅱ(◎)(2)	物理数学(○)(2)(*2)		離散数学(○)(2)(*2)			
	C-2 電気磁気学や電子回路などの電子・情報系専門基礎科目の知識・能力を身につける	(d)		・電気磁気学Ⅱ ・電気回路学Ⅱ ・電子回路学Ⅱ	電気磁気学Ⅱ、電気回路学Ⅱ、電子回路学Ⅱの達成度で評価する	電気磁気学Ⅱ(◎)(2)	電気回路学Ⅱ(◎)(2)	電子回路学Ⅱ(◎)(2)					
	C-3 基本的な測定機器の取り扱い、実験技術を身につける	(d)	(h), (i)	・電子通信工学実験Ⅱ・Ⅲ	電子通信工学実験Ⅱ・Ⅲの達成度で評価する	電子通信工学実験Ⅱ(◎)(3)	電子通信工学実験Ⅲ(◎)(3)						
(D)電子・情報系技術の一分野において専門技術に関する知識・能力	D-1 通信技術・電子技術・制御技術・情報技術などの中から1分野の専門応用技術を身につける	(d)		・本科の必修科目6科目(12単位) ・専攻科の選択科目で専門基礎から6単位以上、電子通信系・情報制御系から12単位以上	・各科目の達成度で評価する	情報工学理論(◎)(2)	信号処理(◎)(2)	計測と制御(○)(2)(*5)	デジタル信号処理工学(○)(2)(*5)	デジタル電子回路学(○)(2)(*5)			
	D-2 人の行動・感性を工学に生かす技術を身につける	(d)	(a)	・生物科学 ・感性情報工学 ・ヒューマンインターフェース技術	各科目の達成度で評価する	生物科学(◎)(2)			ヒューマンインターフェース技術(◎)(2)	感性情報工学(◎)(2)			
	D-3 与えられた課題について、問題解決の過程を通じてデザイン能力を身につける	(e), (h), (i)		・電子通信工学実験Ⅱ・Ⅲ ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ	・電子通信工学実験Ⅱ・Ⅲにおいて、回路の製作あるいはソフトウェアの製作により評価する ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱの達成度によって評価する	電子通信工学実験Ⅱ(◎)(3)	電子通信工学実験Ⅲ(◎)(3)			システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)	
(E)創造性、チャレンジ性を発揮できる素養	E-1 研究計画の立案、研究の進め方、結果の整理・考察など一連の技術開発手順を学習し、創造性を身につける	(d), (e)		・創造性工学 ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ	・創造性工学の達成度で評価する ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱの研究計画書、中間発表および特別研究報告書で評価する			知的生産学(○)(1)	創造性工学(◎)(2)	システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)	
	E-2 実験や研究上で生じた新たな問題点の解決など、技術者として自主的に取り組むチャレンジ性を身につける	(d), (g)		・創成技術デザイン実習 ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ	・創成技術デザイン実習およびシステム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ(研究発表、報告書)で評価する		卒業研究(○)(8)			システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)	
	E-3 継続的に学習する習慣を身につける	(g)		・英語など、宿題や課題等の日常的な学習状況を評価の一部とする授業科目 ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ	・宿題や課題の取り組み、レポートの締切など、日常的な学習状況を各科目の達成度により評価する ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱでの研究活動(記録)により評価する	英語Ⅳ(○)(2)	英語Ⅴ(○)(2)			システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)	
	E-4 企業実習、校内での実習を通じ、与えられた課題に対する実践的な能力を身につける	(d)	(i)	・インターンシップ実習1~4またはプロジェクト実習のいずれか1科目	・インターンシップ実習1~4またはプロジェクト実習のいずれか1つの達成度によって評価する					インターンシップ実習1~4(◎)(1,2,3,4)(*7)	プロジェクト実習(◎)(2)(*7)		
(F)人類への貢献意識を持ち、広い視野と倫理観を持った技術姿勢を身につけること	F-1 諸外国の言語を学び各国の文化、価値観などに触れるとともに、社会の成立に不可欠な諸条件の基礎知識を習得することにより、多面的に物事を考え価値観の異なる他者との共存ができる素養を身につける	(a)	(b), (f)	・国際言語文化論 ・コミュニケーション論 ・起業化と社会 ・法学、経済学、哲学、社会学のいずれか1科目	・国際言語文化論、コミュニケーション論、企業化と社会および、法学、経済学、哲学、社会学のいずれか1つの達成度により評価する	法学(◎)(2)(*1)	国際言語文化論(◎)(1)			起業化と社会(◎)(2)			
	F-2 スポーツやグループワークを通して協力・連携の意識を育み、社会性・協調性・チームワーク力を身につける	(i)	(a), (h)	・スポーツ理論 ・保健体育Ⅳ ・創成技術デザイン実習	・スポーツ理論、保健体育Ⅳおよび創成技術デザイン実習の達成度により評価する	スポーツ理論(◎)(1)	保健体育Ⅳ(◎)(1)			インターンシップ実習1~4(○)(1,2,3,4)(*9)	プロジェクト実習(○)(2)(*9)		
	F-3 技術が人類社会に及ぼす影響、技術開発が人類社会に与える倫理的な問題について理解する	(b)		・技術者倫理	・技術者倫理の達成度により評価する			電気通信法規(1)			技術者倫理(◎)(2)		起業化と社会(○)(2)

\*) 「TOEICスコア400点相当」とは以下のいずれかに該当すること。  
 i) TOEICテスト(公開テスト、IPテスト、模擬試験のいずれか)において400点以上の得点を得ること。  
 ii) 実用英語検定試験準2級に合格すること。  
 iii) 実用英語検定試験2級一次試験において50%以上の正答率を得ること。(一次・二次試験に合格するかどうかは問わない。)  
 iv) 工業英語検定試験3級以上に合格すること。  
 v) コミュニケーション英語で“優”の評価を修得すること。

	必修	選択	記号
本科	本科必修	本科選択	◎: 学習・教育到達目標の達成に必要な科目
専攻科	専攻科必修	専門基盤選択	○: 学習・教育到達目標に関わりの深い科目
		電子通信系選択	無印: 学習・教育到達目標に関係するが、修得は指定されない科目
		情報制御系選択	

選択科目の指定	
*1(社会科学系) 法学, 経済, 哲学, 社会学から1科目修得	*5, *6(専門選択科目) *5から6単位以上, *6から12単位以上修得
*2(自然科学系) 物理数学, 離散数学, 応用物理学から2単位以上修得	*7(インターンシップ実習関係) インターンシップ実習1~4または, プロジェクト実習より1単位以上修得
*3(情報技術基礎系) 情報工学基礎論, 数値計算論から2単位以上修得	
*4(情報技術応用系) 画像情報処理工学, 数理・OR工学, アルゴリズム工学から2単位以上修得	



\*) 「TOEICスコア400点相当」とは以下のいずれかに該当すること。  
 i) TOEICテスト(公開テスト、IPテスト、模擬試験のいずれか)において400点以上の得点を得ること。  
 ii) 実用英語検定試験準2級に合格すること。  
 iii) 実用英語検定試験2級一次試験において50%以上の正答率を得ること。(一次・二次試験に合格するかどうかは問わない。)  
 iv) 工業英語検定試験3級以上に合格すること。  
 v) コミュニケーション英語で“優”の評価を修得すること。

	必修	選択	記号
本科	本科必修	本科選択	◎: 学習・教育到達目標の達成に必要な科目
専攻科	専攻科必修	専門基礎選択	○: 学習・教育到達目標に関わりの深い科目
		電子通信系選択	無印: 学習・教育到達目標に関係するが、修得は指定されない科目
		情報制御系選択	

選択科目の指定	
*1(社会科学系) 法学, 経済, 哲学, 社会学から1科目修得	*5, *6(専門選択科目) *5から6単位以上, *6から12単位以上修得
*2(自然科学系) 物理数学, 離散数学, 応用物理学から2単位以上修得	*7(インターンシップ実習関係) インターンシップ実習1~4または、プロジェクト実習より1単位以上修得
*3(情報技術基礎系) 情報工学基礎論, 数値計算論から2単位以上修得	
*4(情報技術応用系) 画像情報処理工学, 数理・OR工学, アルゴリズム工学から2単位以上修得	

付録4-3 学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ（人間情報システム工学科+専攻科）

本コースの学習・教育到達目標	JABEE教育目標との対応		達成度の評価に 関係する科目	達成度の評価法	総合評価	科目名									
	◎	○				人間情報システム工学科		電子情報システム工学専攻							
						本科4年	本科5年	専攻科1年		専攻科2年					
								前期	後期	前期	後期				
(A)日本語および英語のコミュニケーション能力	A-1 技術者として、分かりやすいきちんとした日本語での表現、技術報告書の作成、プレゼンテーションなどができる	(f)		・国語Ⅳ ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ ・技術表現特論	・国語Ⅳの達成度で評価する ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ(レポート、中間・最終発表の原稿、プレゼンテーション、特別研究報告書)および技術表現特論の達成度で評価する	(1)左記を全て満たすこと (2)コミュニケーション	国語Ⅳ(◎)(1)				システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)		技術表現特論(◎)(2)
	A-2 英語による基本的な表現(英文読解、英作文、英会話)ができる	(f)		・英語Ⅳ、英語Ⅴ ・コミュニケーション英語	・英語Ⅳ、英語Ⅴおよびコミュニケーション英語の達成度で評価する	英語の評価が80点以上、またはTOEICスコア400点相当以上*であること	英語Ⅳ(◎)(2)	英語Ⅴ(◎)(2)			コミュニケーション英語(◎)(2)				
	A-3 技術者としての英語のコミュニケーション能力を身につける	(f)		・システム工学特別研究Ⅱ ・技術英語(専攻科2年)	・システム工学特別研究Ⅱの概要を英文で記述できることで評価する ・技術英語(専攻科2年)の達成度で評価する		技術英語(1)				システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)		技術英語(◎)(2)
(B)コンピュータの基本的技術および工学への応用技術	B-1 コンピュータのハードウェアに関する基本的な働きを理解し、OSやプログラミング言語に関する基礎的な処理ができる	(c)		・マイクロコンピュータ ・オペレーティングシステム	・マイクロコンピュータ、オペレーティングシステムの達成度で評価する		マイクロコンピュータ(◎)(2) オペレーティングシステム(◎)(2) 情報工学実験Ⅱ(3)	システムプログラミング(2) 情報工学実験Ⅲ(3)							
	B-2 工学的な課題についてコンピュータを応用して解決することができる	(c)	(d)	・情報工学基礎論または数値計算論のいずれか1科目 ・画像情報処理工学、数理OR工学、アルゴリズム工学のいずれか1科目	・選択した2科目の達成度で評価する		数値計算論(2)			画像情報処理工学(◎)(2)(*4)	情報工学基礎論(◎)(2)(*3) 数理・OR工学(◎)(2)(*4)	数値計算論(◎)(2)(*3)		アルゴリズム工学(◎)(2)(*4)	
(C)電子・情報系技術の基礎知識・能力	C-1 数学、物理などの基礎的な知識・能力を身につけ、それを工学の分野で利用できる	(c)	(d)	・応用数学Ⅰ・Ⅱ ・応用物理 ・物理数学、離散数学、応用物理学のいずれか1科目	・応用数学Ⅰ・Ⅱ、応用物理の達成度で評価する ・物理数学・離散数学・応用物理学のいずれか1つの達成度で評価する		応用数学Ⅰ(◎)(2) 応用物理(◎)(2)	応用数学Ⅱ(◎)(2)	物理数学(◎)(2)(*2)		離散数学(◎)(2)(*2) 応用物理学(◎)(2)(*2)				
	C-2 電気磁気学や電子回路などの電子・情報系専門基礎科目の知識・能力を身につける	(d)		・電気磁気学 ・応用電子回路 ・情報理論	電気磁気学、応用電子回路、情報理論の達成度で評価する		電気磁気学(◎)(2) 応用電子回路(◎)(2)	情報理論(◎)(2)							
	C-3 基本的な測定機器の取り扱い、実験技術を身につける	(d)	(h), (i)	・情報工学実験Ⅱ・Ⅲ	情報工学実験Ⅱ・Ⅲの達成度で評価する		情報工学実験Ⅱ(◎)(3)	情報工学実験Ⅲ(◎)(3)							
(D)電子・情報系技術の一分野において専門技術に関する知識・能力	D-1 通信技術・電子技術・制御技術・情報技術などの中から1分野の専門応用技術を身につける	(d)		・本科の必修科目6科目(12単位) ・専攻科の選択科目で専門基礎から6単位以上、電子通信系・情報制御系から12単位以上	・各科目の達成度で評価する	(1)左記の全てを満たすこと (2)大学評価・学位授与機構の試験に合格し、学位(学士)を取得すること	信号処理(◎)(2) データ構造とアルゴリズム(◎)(2) 情報ネットワーク(◎)(2) 人間環境工学(◎)(2) ソフトウェア工学(2) ヒューマンメディア工学(2)	統計解析(◎)(2) 情報数学(◎)(2) データベース(2) 数理情報工学(2) 情報環境工学(2) 形式言語とオートマトン(2) 線形システム工学(2)	計測と制御(◎)(2)(*5) 材料工学(◎)(2)(*5) マルチメディア工学(◎)(2)(*5) 応用電磁気学(◎)(2)(*6) 集積回路工学(◎)(2)(*6) 回路システム工学(◎)(2)(*6) システム制御理論(◎)(2)(*6)	デジタル信号処理工学(◎)(2)(*5) デジタル電子回路工学(◎)(2)(*5) 電子物性論(◎)(2)(*6) 電磁波計測工学(◎)(2)(*6) ネットワーク工学特論(◎)(2)(*6) 画像工学総論(◎)(2)(*6) ソフトウェア設計工学(◎)(2)(*6) ロボット工学特論(◎)(2)(*6) 音響システム工学(◎)(2)(*6) シミュレーション工学(◎)(2)(*6)		通信符号理論(◎)(2)(*6) 情報処理工学(◎)(2)(*6) 表面電子工学(◎)(2)(*6) 電子デバイス工学(◎)(2)(*6) デジタル通信システム工学(◎)(2)(*6) 知的制御システム論(◎)(2)(*6)	電子デバイス工学(◎)(2)(*6) デジタル通信システム工学(◎)(2)(*6) 知的制御システム論(◎)(2)(*6)		
	D-2 人の行動・感性を工学に生かす技術を身につける	(d)	(a)	・生物学 ・感性情報工学 ・ヒューマンインターフェース技術	各科目の達成度で評価する		生物科学(◎)(2)	認知情報工学(2) 福祉・教育工学(2) ヒューマン情報処理(2)	ヒューマンインターフェース技術(◎)(2) 人間生体工学(◎)(2)		感性情報工学(◎)(2)				
	D-3 与えられた課題について、問題解決の過程を通じてデザイン能力を身につける	(e), (h)	(i)	・情報工学実験Ⅱ・Ⅲ ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ	・情報工学実験Ⅱ・Ⅲにおいて、回路の製作あるいはソフトウェアの製作により評価する ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱの達成度によって評価する		情報工学実験Ⅱ(◎)(3)	情報工学実験Ⅲ(◎)(3)			システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)		
(E)創造性、チャレンジ性を発揮できる素養	E-1 研究計画の立案、研究の進め方、結果の整理・考察など一連の技術開発手順を学習し、創造性を身につける	(d), (e)		・創造性工学 ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ	・創造性工学の達成度で評価する ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱの研究計画書、中間発表および特別研究報告書で評価する			知的生産学(◎)(1)	創造性工学(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)		
	E-2 実験や研究途上で生じた新たな問題点の解決など、技術者として自主的に取り組むチャレンジ性を身につける	(d), (g)		・創成技術デザイン実習 ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ(研究発表、報告書)で評価する	・創成技術デザイン実習およびシステム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ(研究発表、報告書)で評価する		卒業研究(◎)(8)			システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)			
	E-3 継続的に学習する習慣を身につける	(g)		・英語など、宿題や課題等の日常的な学習状況を評価する一部とする授業科目 ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ	・宿題や課題の取り組み、レポートの締切など、日常的な学習状況を各科目の達成度により評価する ・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱでの研究活動(記録)により評価する		英語Ⅳ(◎)(2)	英語Ⅴ(◎)(2)			システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)		
	E-4 企業実習、校内での実習を通じ、与えられた課題に対する実践的な能力を身につける	(d)	(i)	・インターンシップ実習1~4またはプロジェクト実習のいずれか1科目	・インターンシップ実習1~4またはプロジェクト実習のいずれか1つの達成度によって評価する					インターンシップ実習1~4(◎)(1,2,3,4)(*7) プロジェクト実習(◎)(2)(*7)					
(F)人類への貢献意識を持ち、広い視野と倫理観を持った技術姿勢を身につけること	F-1 諸外国の言語を学び各国の文化、価値観などに触れるとともに、社会の成立に不可欠な諸条件の基礎知識を習得することにより、多面的に物事を考え価値観の異なる他者との共存ができる素養を身につける	(a)	(b), (f)	・国際言語文化論 ・コミュニケーション論 ・起業化と社会 ・法学、経済学、哲学、社会学のいずれか1科目	・国際言語文化論、コミュニケーション論、起業化と社会および法学、経済学、哲学、社会学のいずれか1つの達成度により評価する	(1)左記の全てを満たすこと	法学(◎)(2)(*1) 経済学(◎)(2)(*1) 哲学(◎)(2)(*1) 社会学(◎)(2)(*1)	国際言語文化論(◎)(1) コミュニケーション論(◎)(1)	起業化と社会(◎)(2) 技術者倫理(◎)(2)		インターンシップ実習1~4(◎)(1,2,3,4)(*9) プロジェクト実習(◎)(2)(*9)				
	F-2 スポーツやグループワークを通して協力・連携の意識を育み、社会性・協調性・チームワーク力を身につける	(i)	(a), (h)	・スポーツ理論 ・保健体育Ⅳ ・創成技術デザイン実習	・スポーツ理論、保健体育Ⅳおよび創成技術デザイン実習の達成度により評価する		スポーツ理論(◎)(1)	保健体育Ⅳ(◎)(1)			創成技術デザイン実習(◎)(2)				
	F-3 技術が人類社会に及ぼす影響、技術開発が人類社会に与える倫理的な問題について理解する	(b)		・技術者倫理	・技術者倫理の達成度により評価する						技術者倫理(◎)(2) 起業化と社会(◎)(2)				

\*) 「TOEICスコア400点相当」とは以下のいずれかに該当すること。  
 i) TOEICテスト(公開テスト、IPテスト、模擬試験のいずれか)において400点以上の得点を得ること。  
 ii) 実用英語検定試験準2級に合格すること。  
 iii) 実用英語検定試験2級一次試験において50%以上の正答率を得ること。(一次・二次試験に合格するかどうかは問わない。)  
 iv) 工業英語検定試験3級以上に合格すること。  
 v) コミュニケーション英語で“優”の評価を修得すること。

	必修	選択	記号
本科	本科必修	本科選択	◎: 学習・教育到達目標の達成に必要な科目
専攻科	専攻科必修	専門基礎選択	○: 学習・教育到達目標に関わりの深い科目
		電子通信系選択	無印: 学習・教育到達目標に関係するが、修得は指定されない科目
		情報制御系選択	

選択科目の指定	
*1(社会科学系) 法学, 経済, 哲学, 社会学から1科目修得	*5, *6(専門選択科目) *5から6単位以上, *6から12単位以上修得
*2(自然科学系) 物理数学, 離散数学, 応用物理学から2単位以上修得	*7(インターンシップ実習関係) インターンシップ実習1~4または、プロジェクト実習より1単位以上修得
*3(情報技術基礎系) 情報工学基礎論, 数値計算論から2単位以上修得	
*4(情報技術応用系) 画像情報処理工学, 数理・OR工学, アルゴリズム工学から2単位以上修得	

付録Ⅱ 電子情報技術専修コースの教育目標達成に必要な授業科目の流れ（専攻科）

専修コースの教育目標	達成度の評価に関する科目	達成度の評価法	総合評価	科目名			
				電子情報システム工学専攻			
				専攻科1年		専攻科2年	
				前期	後期	前期	後期
(1) 高度開発型技術者(実践的技術に加えて柔軟な発想能力のある開発技術者)の育成	(1)-1 電子情報・制御情報に関する1分野の専門応用技術を身につける	・専門基盤科目3科目(6単位). ・選択科目から1科目(2単位)以上	・各科目の達成度で評価する.	計測と制御(2)	デジタル信号処理(2)		
				材料工学(2)	デジタル電子回路学(2)		
(2) 高度総合システム技術者(電子・情報技術を工学的産業技術に活用し、人間に快適なシステム化ができる技術者)の育成	(2)-1 人の行動・感性を工学に生かす技術を身につける	・感性情報工学 ・ヒューマンインターフェース技術	・各科目の達成度で評価する.	マルチメディア工学(2)	電子物性論(2)	通信符号理論(2)	
	(2)-2 研究・実習活動を通じて電子・情報技術を工学的産業技術に活用する能力を身につける	・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱ	・システム工学特別研究Ⅰ・Ⅱの達成度で評価する.	応用電磁気学(2)	電磁波計測工学(2)	光情報処理工学(2)	
(3) 知的情報処理技術者(コンピュータ技術を知的情報処理技術に高めることができる創造性のある技術者)の育成	(3) コンピュータ技術を知的情報処理技術に高め専門分野の課題について応用し解決することができる	・選択科目から1科目(2単位)以上	・選択した科目の達成度で評価する.	集積回路工学(2)	ネットワーク工学特論(2)	表面電子工学(2)	電子デバイス工学(2)
				回路システム学(2)	画像工学総論(2)	波形伝送工学(2)	デジタル通信システム工学(2)
(4) 国際性(国際的にも活躍できる人材)の育成	(4)-1 英語による基本的な表現(英文読解、英作文、英会話)ができる	・コミュニケーション英語	・コミュニケーション英語の達成度で評価する.	システム制御理論(2)	ソフトウェア設計工学(2)	情報処理回路(2)	知的制御システム論(2)
	(4)-2 技術者としての英語のコミュニケーション能力を身につける	・システム工学特別研究Ⅱ ・技術英語	・システム工学特別研究Ⅱの概要を英文で記述できることで評価する. ・技術英語の達成度で評価する.	創造性工学(2)	ロボット工学特論(2)	音響システム工学(2)	ファジィ工学特論(2)
(5) 知的柔軟性(工学的見地に片寄ることのない人間性・知見)の育成	(5) 自然科学・社会科学の基礎的な知識・能力を身につけ、工学の分野で利用できる	・技術者倫理および選択科目から1科目(2単位)以上	・選択した科目の達成度で評価する.	システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)	シミュレーション工学(2)	システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)	技術表現特論(2)
				人間生体工学(2)			
				ヒューマンインターフェース技術(2)	感性情報工学(2)		
				システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)	
				人間生体工学(2)			
				システム工学特別研究Ⅰ(◎)(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)	
				インターンシップ実習1~4(1,2,3,4)			
				プロジェクト実習(2)			
				情報工学基礎論(2)		数値計算論(2)	
				画像情報処理工学(2)	数理・OR工学(2)	アルゴリズム工学(2)	
				コミュニケーション英語(2)			
				システム工学特別研究Ⅰ(2)		システム工学特別研究Ⅱ(◎)(8)	
						技術英語(◎)(2)	
				物理数学(2)	離散数学(2)		
				応用物理科学(2)			

(1) 左記の全てを満たすこと。  
(2) 専修コースの修了要件(履修の手引き参照)を満たすこと。

(6) 人類への貢献意識を持ったチャレンジ精神豊かな技術者の育成	<p>(6)-1 技術者として必要な起業力, 技術の動向, 倫理的問題などについて基礎知識を習得する</p> <p>(6)-2 実験や研究途上で生じた新たな問題点の解決など、技術者として自主的に取り組むチャレンジ性を身につける</p>	<p>・起業化と社会</p> <p>・創成技術デザイン実習 ・システム工学特別研究 I・II</p>	<p>・起業化と社会の達成度で評価する。</p> <p>・創成技術デザイン実習およびシステム工学特別研究 I・II (研究発表, 報告書) で評価する。</p>
----------------------------------	---	--	--

	技術者倫理(2)	
起業化と社会(2)	技術者倫理(2)	
インターンシップ実習1~4 (1,2,3,4)		
プロジェクト実習(2)		
	システム工学特別研究 I (◎)(2)	システム工学特別研究 II (◎)(8)
創成技術デザイン実習(2)		

専攻科必修	電子通信系選択
専門基盤選択	制御情報系選択